

日程表

7月13日(木) 第1日目

7月14日(金) 第2日目

9:00		セッション3 (9:00~10:30) 音楽・音楽運動療法 座長:野田 燎 植村研一
10:00	開会挨拶 会長 野田 燎 基調講演 (10:05~11:00) 座長:長尾省吾 『意識とは何か:植物状態から見た“こころ”の世界』 講師:片山容一	セッション4 (10:30~11:40) リハビリ摂食嚥下療法 座長:馬場 尊 中村美津
11:00	セッション1 (11:00~11:50) 画像診断及び治療 座長:神野哲夫	休憩 (5分)
12:00	セッション2 (11:50~12:40) 病態と治療方針 座長:吉峰俊樹	セッション5 (11:45~12:30) 神経刺激による機能回復 座長:山本隆充 森田 功
13:00	ランチ (12:40~13:20) 軽昼食 ロビーにて	ランチ (12:30~13:20)
14:00	セミナー (13:20~14:10) 座長:太田富雄 意識と知能 講師:林 成之	会長講演 (13:20~14:10) 座長:神野哲夫 『医療と芸術の融合による意識障害治療』 講師:野田 燎
15:00	シンポジウム1 (14:10~15:10) 先端医療と意識障害者の治療戦略 座長:片山容一	セッション6 (14:10~14:55) リハビリ全般 座長:紙屋克子・上田 孝
16:00	特別講演 (15:10~16:10) 座長:重森 稔 『脳科学から見た、こころの科学』 講師:中田 力	シンポジウム2 (14:55~15:55) 意識障害者のリハビリテーション 座長:加藤庸子
	休憩 (10分)	休憩 (5分)
17:00	教育講演1 (16:20~17:10) 座長:堀江 武 『嚥下と口腔ケア』 講師:植田耕一郎	セッション7 (16:00~16:50) 慢性期治療と合併症予防 座長:長峰義秀 前田行雄
	休憩 (10分)	セッション8 (16:50~18:00) 治療と看護介入・介護ケア・社会支援体制 座長:松月みどり 守谷 俊
18:00	教育講演2 (17:20~18:10) 座長:野田 燎 『発声言語と音楽の間』 講師:湯浅 譲二	休憩 (5分)
19:00	招待講演 (18:10~19:10) 座長:植村研一 『ドイツにおける音楽療法』 講師:クラウス・V. ヴィルト	シンポジウム3 (18:05~19:05) 治療と看護・介護ケア 座長:藤原 悟
		次期会長挨拶 藤原 悟
20:00	ウェルカム パーティー (19:20~20:20) ホテルニューオータニ大阪 2階 翠鳳の間	サテライトシンポジウム (19:10~20:40) 遷延性意識障害支援のためのサテライトシンポジウム 座長:神野哲夫 野田 燎
21:00	ウェルカム コンサート ピアノ二重奏 (20:30~21:40) いずみホール	
22:00		

7月13日（木） 第1日目

開会挨拶 会長 野田 燎	10：00～10：05
-----------------	-------------

基調講演 『意識とは何か：植物状態から見た“こころ”の世界』 片山容一（日本大学） 座長 長尾省吾（香川大学）	10：05～11：00
--	-------------

セッション1 画像診断及び治療 座長 神野哲夫（藤田保健衛生大学）	11：00～11：50
--------------------------------------	-------------

- S1-1 び慢性脳損傷による高次脳機能障害と遷延性意識障害の画像－病態発生機序について－
岐阜大学大学院医学研究科神経統御学講座 脳神経外科学分野¹⁾、
木沢記念病院・中部療護センター 脳神経外科²⁾
○中山 則之¹⁾、奥村 歩²⁾、篠田 淳²⁾、岩間 亨¹⁾
- S1-2 頭部外傷慢性期の知能低下における脳糖代謝統計学的画像解析
木沢記念病院・中部療護センター 脳神経外科¹⁾、木沢記念病院・中部療護センター 医療技術部²⁾、木沢記念病院・中部療護センター 総合リハビリテーションセンター³⁾、岐阜大学大学院医学研究科神経統御学講座 脳神経外科学分野⁴⁾
○加藤 貴之¹⁾、八十川 雄図¹⁾、奥村 歩¹⁾、篠田 淳¹⁾、福山 誠介²⁾、
宇津山 志穂³⁾、岩間 亨⁴⁾
- S1-3 脳梗塞急性期麻痺患者への手指他動運動が脳に及ぼす影響
誠友会南部病院リハビリテーション科¹⁾、誠友会南部病院脳神経外科²⁾
○上田 正之¹⁾
- S1-4 脳外傷後高次脳機能障害者の視覚誘発事象関連電位P300成分の特徴
～LORETA解析を踏まえて
久留米大学医学部脳神経外科¹⁾、久留米大学 高次脳疾患研究所²⁾
○土井 亮¹⁾、森田 喜一郎²⁾、兒玉 隆之²⁾、徳富 孝志¹⁾、重森 稔¹⁾

セッション2 病態と治療方針 座長 吉峰俊樹（大阪大学）	11：50～12：40
---------------------------------	-------------

- S2-1 遷延性意識障害患者に対するTRH療法の再検討
久留米大学脳神経外科¹⁾、久留米大学高度救命救急センター²⁾
○高崎 勝幸¹⁾、土井 亮¹⁾、塩見 直人²⁾、宮城 知也²⁾、徳富 孝志¹⁾、重森 稔¹⁾

- S2-2 脳梗塞治療薬投与下他動運動が脳に及ぼす影響
 誠友会南部病院脳神経外科¹⁾、誠友会南部病院リハビリテーション科²⁾
 ○上田 孝¹⁾、上田 正之²⁾
- S2-3 レクリエーションがCVS患者前頭部の血流に与える影響～NIRSによる検討～
 独立行政法人 自動車事故対策機構 岡山療護センター
 ○村上 文章、津島 宏美、下條 妃路美、小松 あゆ、片岡 恵美子、
 足立 幸枝、北村 吉宏、丸尾 智子、衣笠 和孜、西本 詮
- S2-4 遷延性意識障害に治するMRI拡散テンソルtractographyの有用性についての検討
 藤田保健衛生大学脳神経外科
 ○山口 幸子、森田 功、早川 基治、神野 哲夫、佐野 公俊

ランチ (軽昼食 ロビーにて) (理事会：ニューオータニ大阪 地下1階プリムローズ)	12：40～13：20
---	-------------

セミナー 『意識と知能』 林 成之(日本大学) 座長 太田富雄(医誠会病院脳機能研究所所長) 協賛 三菱ウェルファーマ	13：20～14：10
---	-------------

シンポジウム1 先端医療と意識障害者の治療戦略 座長 片山容一(日本大学)	14：10～15：10
--	-------------

－ 脊髄後索電気刺激療法の経験を通じて－

藤田保健衛生大学

○神野 哲夫

刺激による脳の機能回復

大阪大学大学院脳神経外科

○吉峰 俊樹

骨髄幹細胞による虚血脳保護

札幌医科大学脳神経外科

○本望 修、宝金 清博

遷延性意識障害例に対する脳脊髄刺激療法：長期経過と臨床的意義

日本大学医学部脳神経外科・大学院医学研究科応用システム神経科学

○山本 隆充、片山 容一

特別講演 『脳科学から見た、こころの科学』 中田 力 (新潟大学) 座長 重森 稔 (久留米大学)	15:10~16:10
休 憩	16:10~16:20
教育講演1 『嚥下と口腔ケア』 植田耕一郎 (日本大学) 座長 堀江 武 (千葉療護センター)	16:20~17:10
休 憩	17:10~17:20
教育講演2 『発声言語と音楽の間』 湯浅譲二 (日本大学) 座長 野田 燎 (大阪芸術大学)	17:20~18:10
招待講演 『ドイツにおける音楽療法』 クラウス・V. ヴィルト (Medical Faculty of the Westphälische Wilhelms-University Münster) 座長 植村研一 (横浜市立脳血管医療センター)	18:10~19:10
ウェルカム パーティー (ホテルニューオータニ大阪 2階 翠鳳の間)	19:20~20:20
ウェルカム コンサート ピアノ二重奏 演 奏 裕美&パスカル・マリニヤン 曲 目 F.シューベルト ファンタジーOp.103 D94 M.ラヴェル マメール ロア G.ガーシュイン ラプソディ インブルー J.ブラームス ハンガリアンダンス 野田 燎 鳥達 他	20:30~21:40

7月14日（金） 第2日目

セッション3 音楽・音楽運動療法

09:00~10:30

座長 野田 燎 (大阪芸術大学)

植村研一 (横浜市立脳血管医療センター)

- S3-1 遷延性意識障害患者の随意運動に対する認知的介入としての音楽療法の効果
木沢記念病院 中部療護センター リハビリテーション¹⁾、脳神経外科²⁾、放射線科³⁾、看護部⁴⁾
○奥村 由香¹⁾、奥村 歩²⁾、豊島 義哉¹⁾、奥村 竜児³⁾、辻井 知香子¹⁾、平林 美樹¹⁾、西村 和好¹⁾、中村 美津⁴⁾、石山 光枝⁴⁾、篠田 淳²⁾
- S3-2 脳外傷認知機能障害に対する脳リハビリテーションFunctional mapping
木沢記念病院 中部療護センター¹⁾、第一ラジオアイソトープ研究所²⁾
○奥村 竜児¹⁾、奥村 歩¹⁾、奥村 由香¹⁾、福山 誠介¹⁾、篠田 淳¹⁾、野平 英樹²⁾
- S3-3 音楽を用いた刺激によりADLの改善がみられた症例
聖隷浜松病院¹⁾、B3病棟²⁾、リハビリテーション部³⁾
○大橋 みち子¹⁾、鈴木 千佳代¹⁾、刑部 恵²⁾
- S3-4 音楽運動療法を取り入れた楽しい介護生活～久美子とゆかいな仲間たち～
在宅にて音楽運動療法実践中
○山内 幸子
- S3-5 在宅における音楽運動療法の重要性について
野田音楽運動療法研究所¹⁾、大阪芸術大学芸術学部²⁾、野田音楽運動療法研究所³⁾、石切生喜病院 脳神経外科⁴⁾
○望月 恵里¹⁾、野田 燎²⁾、山本屋 恵理³⁾、大植 京子³⁾、大空 倫子³⁾、前田 行雄⁴⁾
- S3-6 結節性硬化症の少女Eの音楽運動療法の報告
旭川大学女子短期大学部 幼児教育学科¹⁾、ミュージック・ワンダー・クラブ²⁾
○五十嵐 路子¹⁾、島田 英子²⁾、寺田 真澄²⁾、萩野 ひとみ²⁾
- S3-7 音楽運動療法によるコミュニケーション能力の改善について：症例報告
野田音楽運動療法研究所¹⁾、大阪芸術大学芸術学部²⁾、石切生喜病院³⁾
○山本屋 恵理¹⁾、野田 燎²⁾、前田 行雄³⁾、大空 倫子¹⁾、望月 恵里¹⁾
- S3-8 小児意識障害患者の音楽運動療法における楽曲選択
野田音楽運動療法研究所¹⁾、大阪芸術大学芸術学部 教養課程²⁾、石切生喜病院 脳神経外科³⁾
○大空 倫子¹⁾、野田 燎²⁾、前田 行雄³⁾、山本屋 恵理¹⁾、望月 恵里¹⁾

- S3-9 東北療護センターにおける遷延性意識障害患者に対する音楽運動療法の経験
 広南病院東北療護センター¹⁾、広南病院看護部²⁾、広南病院理学療法室³⁾、
 広南病院脳神経外科⁴⁾
 ○長嶺 義秀¹⁾、中里 信和¹⁾、及川 明海²⁾、老松 廣子²⁾、佐藤 知子²⁾、
 阿部 浩明³⁾、藤原 悟⁴⁾

セッション4 リハビリ摂食嚥下療法	10:30~11:40
座長 馬場 尊 (藤田保健衛生大学)	
中村美津 (中部療護センター)	

- S4-1 りんごを用いた排便コントロールの試み
 日本医科大学千葉北総病院脳神経センター¹⁾、
 日本医科大学千葉北総病院脳神経センター脳神経外科²⁾
 ○岡田 知弥子¹⁾、八木沢 奨¹⁾、加藤 香織¹⁾、伊藤 朋子¹⁾、佐々木 優子¹⁾、
 野口 素¹⁾、水成 隆之²⁾
- S4-2 意識障害患者に対する嗅覚および味覚刺激の効果
 高知大学医学部 看護部 3階西¹⁾、高知大学医学部 脳神経外科²⁾
 ○西村 八栄¹⁾、小野 あゆみ¹⁾、山田 昌興²⁾、清水 恵司²⁾、小松 誓子¹⁾
- S4-3 誤嚥性肺炎予防と嚥下機能向上を目的とした口腔ケアの検討
 藤田保健衛生大学病院 脳神経外科¹⁾、藤田保健衛生大学 医学部 歯科口腔外科²⁾、
 藤田保健衛生大学 リハビリテーション部³⁾、⁴⁾
 ○土屋 志保¹⁾、梶川 智弘¹⁾、重田 律子³⁾、藤井 航²⁾、森田 功¹⁾、山口 幸子¹⁾、
 佐野 公俊¹⁾
- S4-4 長期的観点からみた脳卒中急性期施設の意識障害患者に対する経管栄養法の選択
 新潟労災病院¹⁾、筑波大学大学院人間総合科学研究科²⁾
 ○大山 奈緒美¹⁾、竹之内 美良¹⁾、櫻井 利江²⁾、柿沼 健一¹⁾
- S4-5 安全で楽しみとしての食事をめざして ～クリスマス会でのスタッフによる劇～
 木沢記念病院 中部療護センター リハビリテーション科 言語聴覚療法¹⁾、
 木沢記念病院 中部療護センター 看護部²⁾、
 木沢記念病院 中部療護センター 脳神経外科³⁾、
 岐阜大学大学院医学系研究科 神経統御学講座脳神経外科学分野⁴⁾
 ○豊島 義哉¹⁾、辻井 知香子¹⁾、平林 美樹¹⁾、奥村 由香¹⁾、中村 美津²⁾、
 八十川 雄図³⁾、加藤 貴之³⁾、奥村 歩³⁾、篠田 淳³⁾、岩間 亨⁴⁾
- S4-6 意識障害患者のための摂食・嚥下ケアへのアプローチーアルゴリズム作成ー
 医療法人 札幌麻生脳神経外科病院
 ○飯野 智恵子、品地 智子、江口 隆子

S4-7 意識障害患者のための摂食・嚥下ケアアルゴリズムを試行して
 医療法人 札幌麻生脳神経外科病院
 ○小野 直子、町田 佳代、品地 智子、飯野 智恵子

休 憩	11：40～11：45
-----	-------------

セッション5 神経刺激による機能回復 座長 山本隆充（日本大学） 森田 功（藤田保健衛生大学）	11：45～12：30
---	-------------

S5-1 遷延性意識障害患者へのアロマトリートメントの影響
 木沢記念病院 中部療護センター
 ○小澤 慶子、中村 美津、篠田 淳

S5-2 広範囲の陳旧性脳梗塞を有した蘇生後脳症の1例に対する鍼治療の試み
 岐阜大学大学院医学系研究科東洋医学講座¹⁾、岐阜大学附属病院高次救命治療センター²⁾、
 岐阜大学大学院医学系研究科再生医科学循環病態学呼吸病態学第2内科³⁾
 ○松本 淳¹⁾、岡田 英志²⁾、村田 一知朗¹⁾、鎌田 剛¹⁾、金子 聡一郎¹⁾、
 赤尾 清剛¹⁾、宮田 周作¹⁾、藤原 久義³⁾

S5-3 交通外傷による遷延性意識障害に対する鍼治療の試み
 中部療護センター・木沢記念病院 脳神経外科¹⁾、中部療護センター 看護部²⁾、
 京都大学大学院医学研究科健康増進行動学分野³⁾、
 岐阜大学大学院医学研究科東洋医学講座⁴⁾
 ○鈴木 雅雄¹⁾、松本 淳⁴⁾、八十川 雄図¹⁾、中村 美津²⁾、奥村 歩¹⁾、篠田 淳¹⁾

S5-4 経皮的電気刺激(TENS)を施行した閉じ込め症候群の2例
 滋賀県立成人病センター 脳神経外科
 ○土井 健人、佐藤 岳史、山田 茂樹、齊木 雅章

S5-5 ヘルメット型脳磁計へ頭部挿入が不完全でも残存機能を評価できた遷延性意識障害例
 広南病院東北療護センター¹⁾、脳神経外科²⁾
 ○菅野 彰剛¹⁾、中里 信和¹⁾、長嶺 義秀¹⁾、藤原 悟²⁾

ランチ（軽昼食 ロビーにて） （世話人会：ホテルニューオータニ大阪 地下1階プリムローズ）	12：30～13：20
--	-------------

会長講演 『医療と芸術の融合による意識障害治療』 野田 燎（大阪芸術大学） 座長 神野哲夫（藤田保健衛生大学）	13：20～14：10
--	-------------

セッション6 リハビリ全般

14:10~14:55

座長 紙屋克子(筑波大学)

上田 孝(誠友会南部病院)

- S6-1 意識障害のある脳外傷児への急性期から維持期・就学までのリハビリテーションアプローチ
市立砺波総合病院総合リハビリテーションセンター¹⁾、
市立砺波総合病院脳神経外科²⁾、市立砺波総合病院整形外科³⁾
○影近 謙治¹⁾、柴田 孝博¹⁾、嶋先 晃¹⁾、大橋 雅広²⁾、高木 泰孝³⁾
- S6-2 受傷から2年5ヶ月後、文字による質問に対しYES-NO反応が可能となった症例
木沢記念病院 中部療護センター リハビリテーション科 言語聴覚療法¹⁾、
看護部²⁾、脳神経外科³⁾
○辻井 知香子¹⁾、豊島 義哉¹⁾、平林 美樹¹⁾、奥村 由香¹⁾、中村 美津²⁾、
兼松 小夜香²⁾、奥村 歩³⁾、八十川 雄図³⁾、加藤 貴之³⁾、篠田 淳³⁾
- S6-3 当センター作業療法の試み:ポータブルスプリングバランスを用いた上肢機能訓練
木沢記念病院 中部療護センター
○吉池 佳代、丹羽 志保、和田 哲也、榎林 優、奥村 歩、篠田 淳
- S6-4 反り返りに対しボールを用いた理学療法で抑制効果が得られた一例
木沢記念病院 中部療護センター
○澤田 美由紀、榎林 優、吉池 佳代、篠田 淳、奥村 歩
- S6-5 グループ療法によって意識障害が改善した1例-急性期からの意識障害ケアの取り組み-
神戸市立中央市民病院 9階西病棟
○西本 智子、奥山 拓矢、川合 洋子、堤 恵美

シンポジウム2 意識障害者のリハビリテーション

14:55~15:55

座長 加藤庸子(藤田保健衛生大学)

意識のない'ころ'を検出できる心拍リズム解析法:バランス指数

愛知医科大学客員教授 麻酔科学

○後藤 幸生

意識障害者の摂食・嚥下リハビリテーション

藤田保健衛生大学衛生学部リハビリテーション学科

○馬場 尊

Surgical neuro rehabilitationとしての機能再建手術

藤田保健衛生大学 脳神経外科¹⁾、あべクリニック²⁾

○森田 功¹⁾、山口 幸子¹⁾、吉田 耕一郎¹⁾、尾内 一如²⁾、加藤 庸子¹⁾、
神野 哲夫¹⁾、佐野 公俊¹⁾

五感刺激と運動負荷が脳に及ぼす影響とその臨床応用

誠友会南部病院脳神経外科

○上田 孝

休 憩	15：55～16：00
-----	-------------

セッション7 慢性期治療と合併症予防	16：00～16：50
座長 長峰義秀（東北療護センター） 前田行雄（石切生喜病院）	

- S7-1 遷延性意識障害患者における生存曲線
城西クリニック脳神経外科¹⁾、城西クリニック神経内科²⁾
○白坂 有利¹⁾、石垣 泰則²⁾
- S7-2 遷延性意識障害患者のヒヤリハット報告
自動車事故対策機構 千葉療護センター 看護部
○小嶋 昌子、河野 奈央美、小塚 智昌、佐藤 弘子、吉沢 純子
- S7-3 重症頭部外傷患者の慢性期における機能改善－新しい評価表による治療効果の検討－
自動車事故対策機構 千葉療護センター脳神経外科
○小瀧 勝、内野 福生、岡 信男、河野 守正
- S7-4 慢性期脳血管障害と消化管出血との関連について
東京厚生年金病院脳神経外科
○金 太一、小泉 友幸、豊田 富勝
- S7-5 遷延性意識障害患者に対する用手的呼吸介助法の有用性
自動車事故対策機構 岡山療護センター
○大前 綾子、平元 美由紀、松村 望東美、八木 良子、足立 幸枝、
北村 吉宏、萬代 真哉、衣笠 和孜、西本 詮
- S7-6 遷延性意識障害患者に対する集中的強化的眼洗浄の有用性
自動車事故対策機構 岡山療護センター
○延原 則子、小谷 典子、松村 望東美、足立 幸枝、本田 千穂、
萬代 真哉、衣笠 和孜、西本 詮

座長 松月みどり(北野病院)

守谷 俊(日本大学)

- S8-1 遷延性意識障害患者の膀胱機能調査
木沢記念病院
○浅野 さつき、中村 美津、石山 光枝、篠田 淳
- S8-2 授業中の心肺停止による低酸素脳症から復学した1症例
筑波大学 人間総合科学研究科¹⁾、ナーシングサイエンスアカデミー²⁾、筑波記念病院³⁾
○紙屋 克子¹⁾、日高 紀久江¹⁾、原川 静子²⁾、中村 まゆみ³⁾、柏木 とき江³⁾、久保田 静子³⁾
- S8-3 QT延長症候群に起因する心肺停止から低酸素脳症に陥った小児の看護
筑波記念病院¹⁾、筑波大学 人間総合科学研究科²⁾、ナーシングサイエンスアカデミー³⁾
○渡辺 貴子¹⁾、中村 まゆみ¹⁾、柏木 とき江¹⁾、久保田 静子¹⁾、高橋 久美子¹⁾、横井 めぐみ¹⁾、阿部 真由美¹⁾、紙屋 克子²⁾、日高 紀久江²⁾、原川 静子³⁾
- S8-4 長期の意識障害患者におけるADL拡大へ向けての看護
医療法人社団筑波記念会 筑波記念病院¹⁾、筑波大学大学院人間総合科学研究科²⁾、ナーシングサイエンスアカデミー³⁾
○横井 めぐみ¹⁾、久保田 静子¹⁾、柏木 とき江¹⁾、紙屋 克子²⁾、原川 静子³⁾、日高 紀久江²⁾
- S8-5 くも膜下出血後の遷延性意識障害患者に対し、家族ができる意識障害脱却プランの一例
○服部 優子
- S8-6 患者会活動の報告～外出・外泊を通しての会員の変化について～
山梨県遷延性意識障害者患者家族の会「木の芽の会」¹⁾、石和共立病院²⁾
○望月 清美¹⁾、千野 広¹⁾、宇藤 健司²⁾
- S8-7 患者・家族会のニーズ
全国遷延性意識障害者・家族の会
○桑山 雄次

休 憩	18：00～18：05
-----	-------------

シンポジウム3 治療と看護・介護ケア 座長 藤原 悟 (広南病院)	18：05～19：05
--------------------------------------	-------------

救急医療における意識障害患者に対するアプローチと今後の問題

日本大学医学部救急医学講座

○守谷 俊, 櫻井 淳, 雅楽川 聡, 木下 浩作, 丹正 勝久

救命救急センター転出後の意識障害患者の治療について

石切生喜病院脳神経外科

○前田 行雄

救命できた重症患者を取り巻く諸問題

財団法人田附興風会 医学研究所 北野病院

○松月 みどり

重度意識障害患者の看護実践から急性期看護・リハビリテーションへの提言

国立大学法人 筑波大学人間総合科学研究科

○紙屋 克子

次期会長挨拶 藤原 悟	19：05～19：10
----------------	-------------

サテライトシンポジウム

19：10～20：40

座長 神野哲夫（藤田保健衛生大学）

野田 療（大阪芸術大学）

意識障害学会・意識障害を考える会 合同主催

協賛 エーザイ株式会社

1. 理事長挨拶 神野 哲夫

社会的、医学的見地からの問題の浮き彫りと解決（10分）

2. 公明党代表代行 参議院議員 浜四津敏子様

音楽運動療法の普及及び支援を目指して（5分）

3. 全国遷延性意識障害・家族の会 桑山 雄次様

現在の問題と課題（15分）

4. 長野県社会参事 松本 有司様

脳損傷による後遺障害実態調査（15分）

5. 厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 企画課 課長補佐 武井 貞治様

（15分）

6. 公明党厚生労働部会長 参議院議員 渡辺 孝男様

遷延性意識障害ならびに関連する諸問題と国会の動き（15分）

7. 統合討論（15分）